

負の歴史と

向き合わない国

米田主美

日本は負の歴史と向き合わない国だと常々思ってきた。今こじれている日韓関係も然り過去に犯した自国の罪を謙虚に反省しようとしなさい。もし、誠実に取り組んでいたらとしたり、後世に伝える努力をしてきたら、負の歴史をもっと報道してきただろう。若者の投票率を憂いているが、戦争や侵略の歴史を大人がしっかりと伝えていたらもっと危機感を抱いているはずである。

八月二十五日、熊谷で毎日新聞記者栗原俊雄さんに講演をお願いした。実例を聞きながら日本がいかに戦後処理に向き合わない国かということがわかった。ドイツ、イタリア、フランス、アメリカでも自国民の全ての戦争犠牲者に対し国が賠償責任を果たしているところ。ところが日本では軍人には恩給という特別措置がとられていて一般の犠牲者には賠償は、一切なされていない。孤児になった人達の裁判判決も「受忍」という言葉で覆されていた。戦争だから国民は「忍

を「受けよ」ということなのだろうか。では、戦争を始めた人は誰なのかということである。戦争責任を明確にしないまま七十年余が過ぎていくことがこの国の「病」なのではないかと思う。

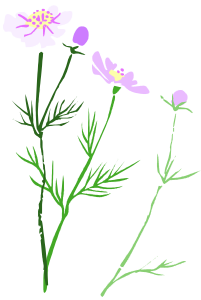
令を敷いた。混乱の中、官憲や自警団が朝鮮人など(中国人や朝鮮人と間違われた日本人を含む)罪のない人々を虐殺した。私が現在住んでいる熊谷市でも六十人、本庄市でも八十人を殺害している。



今年も市が主催する関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式に参加した。大正十二年九月一日、マグニチュード七・九の巨大地震が発生した。翌日、震災の不安を煽るかのように「朝鮮人が井戸に毒を入れている」「朝鮮人が放火している」「朝鮮人が井戸に毒を入れている」という謂れない流言飛語が広がった。そして政府は東京を中心に戒厳

熊谷市では毎年、市長の代替わりがあっても追悼式を続けてきた。今年も市長、市議会議長、議員の大半、朝鮮総連、民団、市民の人たちが白いカーネーションを持って追悼した。市長や議長は挨拶の中には「正しい歴史認識を持って後世に伝えると共に」「私たち熊谷市民はこの不幸な出来事を忘れてはいけません」と、きちんとした反省の言葉が述べられていた。これに対し、北朝鮮、韓国の代表者からは取り組みに対し感謝の言葉が述べられた。踏みについた歴史の事実を言い訳はない。加害者はひたすらあやまり続けるのが人道というものだろう。(熊谷空襲を忘れない市民の会共同代表)

熊谷市では毎年、市長の代替わりがあっても追悼式を続けてきた。今年も市長、市議会議長、議員の大半、朝鮮総連、民団、市民の人たちが白いカーネーションを持って追悼した。市長や議長は挨拶の中には「正しい歴史認識を持って後世に伝えると共に」「私たち熊谷市民はこの不幸な出来事を忘れてはいけません」と、きちんとした反省の言葉が述べられていた。これに対し、北朝鮮、韓国の代表者からは取り組みに対し感謝の言葉が述べられた。踏みについた歴史の事実を言い訳はない。加害者はひたすらあやまり続けるのが人道というものだろう。(熊谷空襲を忘れない市民の会共同代表)



～ カンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしく申し上げます。なお、会計報告はこの紙面により行います。

ゆうちょ銀行

口座記号・記号: 00100-7-265321

加入者名: 熊谷空襲を忘れない市民の会

口座名称カナ: クマガヤクウシュウワウス

レナイシミンノカイ

他行からの振り込みの場合は

店名(店番): 〇一九店(019)

預金種目: 当座

口座番号: 0265321

会計報告(2019/06/19~2019/09/24)

収入: 42,330 円

支出: 38,452 円

残高: 93,515 円

編集委員 吉田庄一 米田主美

連絡先 吉田庄一 (090-4957-9181)

メール imajn241@gmail.com

HP <http://www.peace-kumagaya.org/>

熊谷空襲75周年記念誌出版企画について

・出版物の概要・

- 第1章 熊谷空襲の全貌
空襲前、空襲時、空襲後、復興
 - 第2章 体験者へのインタビュー
インタビューアーに高校生を予定
 - 第3章 座談会
市内在住の有識者
 - 第4章 熊谷空襲以外の空襲を通して戦争と平和について考える
 - 第5章 熊谷空襲を忘れない市民の会の創立とあゆみ
- 添付資料 年表、戦災地図、戦跡地図など

「星川だより」の編集に参加しませんか

熊谷空襲を忘れない市民の会の会報「星川だより」は本号で12号となります。私たちの活動や、平和についての投稿記事など、多くの方のご協力のもと発行しています。企画・編集に参加してくれる人を募集します。

熊谷平和講座

熊谷平和講座

戦後の日韓関係を総括する

熊谷空襲を忘れない市民の会では、毎月一回、加藤一夫さんを講師に平和について学んでいます。今回はその21回目になります。どなたでも参加できます。

過去の講座(最近6回)

第15回	アショカリズムについて	第18回	空襲の歴史と空襲被災者(再論)
第16回	代わりを考ふる	第19回	戦後70年(1945年)出版にも立ち戻る
第17回	移民・難民・外国人労働者問題	第20回	2019年度にボジュリスム

日時: 10月14日(月・祝)14時~15時半

場所: 熊谷市市民活動支援センター 会議室
熊谷市曙町6-67(熊谷駅徒歩約10分)

講師: 加藤一夫さん

熊谷市在住。元群馬福祉大学学長、名誉教授。熊谷空襲を忘れない市民の会共同人。

参加費: 無料(カンパ歓迎)

問合せ: 070-5551-7734 (ひがし)

主催: 熊谷空襲を忘れない市民の会
(HP: <http://www.peace-kumagaya.org/>)

<11月の熊谷平和講座>
11月18日(土)8時半~市民活動支援センター 講師: 加藤一夫さん
第22回熊谷平和講座(テーマ未定) 無料

熊谷空襲を忘れない市民の会では、月1回「熊谷平和講座」を開催しています。奮っての参加をお願いします。